



発行所：認定NPO法人 ベトナム子ども基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館内

電話：03-3945-2415

電子メール：info@v-c-f.org ホームページ：http://www.v-c-f.org/

ベトナム子ども基金通信

No.78

2020.12.15



2019年春の木運動

ありがとうございます。25周年を迎えました 理事長 近藤 昇

皆さまのお力添えで、私たちのベトナム子ども基金も、四半世紀の時の流れを顧みることができます。皆さまはそれぞれの思いを子ども基金という形に結び付けてくださり、このようにベトナムと向かい合うことができていることを、事務局一同、心から感謝しております。より良い子ども基金への責任も感じており、これまで以上のご支援と、率直なご意見を頂けますように願ってやみません。

ところで、私たち事務局はアジア文化会館に間借りしておりますが、その創設者、穂積五一先生は、いつも「留学生から学べ」とおっしゃっていました。分かったような分からないような気持ちで何十年も過ごしてまいりましたが、最近、少しハハアと思うようになったのは、『星の王子様』と、王子様が大事に思っているバラの花との関係を考えてみてのことでした。王子様はキツネのアドバイスで、なぜ、あの1本のバラだけが自分にとって大切なのか悟るのですが、それは、王子様が、毎日バラのおしゃべりを聞いてやり、水をやり、深い絆が出来上がったからです。同じことがキツネと王子様、王子様と語り手の「私」にも言えると思います。50年前の私にしても、ベトナム反戦のデモにもまして、何人かのベトナム人との出会いの方が、ベトナムを近いものにしてくれました。懐かしい留学生たちを思うとき、心には背景としてのその方の祖国がくっきり浮かび上がってきます。

子ども基金が、そのような形ででも、皆さまとベトナムの距離を縮めることにお役に立てるなら、それはとてもうれしいことです。コロナのあなたの新たな希望を祈りつつ、以上、お礼とご挨拶に代えまして。

新しい基金ができました

～ヴォン・レン基金の紹介～

ヴォン・レン基金はベトナムの大学生の夢を実現することを応援する基金です。

長年留学生のお世話をしていたベトナム子ども基金の加倉井弘行さんが、将来ベトナムの未来を担う若者のために使ってほしいと願われ、ご自分の財産の一部をベトナム子ども基金へ寄付してくださいました。加倉井さんは残念ながら亡くなってしまいましたが、加倉井さんの願いは、青葉奨学会のホウ工先生に届けられ、ホウ工先生と一緒にベトナムの未来を担う大学生の夢をかなえる基金となりました。

ヴォン・レン基金は、ベトナムの発展を担うホーチミンの各大学に奨学生を募集し、大学から学生を推薦してもらいます。それから青葉奨学会で面接を行い、奨学生を選びます。「優秀で、社会問題に興味を持ち、懸命に前に進んで学ぶ意志があり、人生に求めるものがあること」が奨学金をもらえる条件です。「夢をかなえることを応援する奨学金」です。毎年奨学生を募集します。奨学生に選ばされると、第4日曜日の朝に集いが開かれ、その集いに参加しなくては奨学金はもらえません。奨学金は1カ月100万ドンです。毎月最低でも基金から貸し出される1冊の本を読まなくてはなりません。基金の図書室には、教育、人間の育て方、生きる術、ベトナムや世界の有名な傑作である文学作品などが60冊ぐらいあります。ここで、読んだ本の内容について発表したり、自分の活動、勉学の様子などを報告したりして交流をしています。時には、外部講師を呼んだりしています(例えば、面白くて役に立つ意義がある科学研究の話をしてくれたりします)。

この奨学金制度は2019年1月から始まりました。



ヴォン・レン基金の奨学生とスタッフ

農林大学の8人の奨学生が奨学金を受給しましたが、残念なことにその中の1人は条件に満たなかったため、支給が中断されました。2020年にまた7人(人文社会科学大学新聞学科5名、農林大学1名、ホーチミン工科大学1名)に支給され、合計14名が奨学金を受給しています。

基金への寄付が多くなれば、多くの学生に奨学金を出すことができます。

ヴォン・レン基金は能力があり、社会に関心を持つ、希望を抱く、意志が強い、よりよい人間になろうと頑張る大学生を応援する基金です。

(青葉奨学会 ヴォン・レン基金 担当ユン)

2020年6月4日、ベトナム子ども基金は設立25周年を迎えました。

2021年2月には、これをお祝いする記念事業として、ヴォン・レン基金への寄付募集を予定しています。詳しくは次回会報をお待ちください。

なお、毎年同じ頃に「春の木運動」を行っておりますが、今回、こちらの方は寄付募集を1回お休みし、これまでに集めた寄付金の残金で実施します。

(ベトナム子ども基金事務局)

祝ベトナム子ども基金25周年！ 会員からのメッセージ

今井 幸恵

ベトナム子ども基金で里親になってから25年になります。今の里子は5人目です。4人の里子は社会人になり、最初の里子のダンちゃんは、現在の里子ジェップちゃんのお母さんくらいの年齢になっています。それぞれの里子が、私が行けなかった場所へ行き、経験できなかったことを経験してくれています。ジェップちゃんは今中学1年生で、将来は医師になりたいとのこと。これからどんな未来を見せてくれるでしょうか。空を見上げ、思いをはせています。



チャン・ゴク・リン 出身地：ナムディン省 最終学歴：博士課程修了（東京大学大学院・工学系研究科・化学システム工学専攻、2018/3） 現在の就職先：国立研究開発法人産業技術総合研究所・研究員

私は、中学2年生から高校3年生まで（2000年～2006年）青葉奨学金を頂きました。奨学金のおかげで学費を払い、本を買うことができ、勉強により専念することができました。里親さまとのメールのやりとりや里親さまが会いに来てくれたこともとてもうれしくて、かけがえない経験でした。25年間支援を続けているベトナム子ども基金のおかげで、多くのベトナムの子どもたちが困難を乗り越え、活躍していると思います。奨学金を支援してくださって感謝いたします。

チュー・バン・フン 出身地：ナムディン省 最終学歴：東京工業大学大学院 国際開発工学専攻
現在の就職先：センクシア株式会社（旧名：日立機材株式会社）

コロナ禍の影響で仕事を失って路上生活を余儀なくされた一人の若者を、お店に連れて行って、おなかがすいたその青年に夕飯をおごるとともに、ホテルでの数泊分部屋を確保してあげ、現金数万円を渡した反貧困ネットワークについての取材番組を見て、ベトナム子ども基金理事長近藤様、ホウエ校長先生を含め、ベトナム子ども基金の里親さま、関係の皆さまおよび過去の自分を思い出しました。

私が中学校のときから、病で父が労働能力をほぼ失い、家族の借金が膨大となり、困窮状態となりました。家族全員が路上生活ほどにはなっていなかったものの、子どもの私たちはボールペン、本等の筆記用具すら十分に買えなかったり、学費支払い遅延も頻繁にありました。学校の先生や友達がそれを見て、「私のボールペンを使っていいよ」などと言ってくださるときもありました。

ちょうど、困ったそのときから高校卒業までホウエ校長のドンズー日本語学校経由でベトナム子ども基金の里親さまから奨学金を頂きました。そのおかげで筆記用具や本の購入も十分にでき、学費支払い遅延もなく、勉強に集中することができました。困ったときに奨学金を頂いたことは自分の励みになり、将来に対する希望にもなりました。そのつながりで高校卒業後、日本へ留学することを決意しました。ドンズー日本語学校、東京ワールド日本語学校、東京英語専門学校、東京工業大学大学院卒業後、現職に至りました。

今の生活に決して100%満足してはいませんが、今の自分があるのはベトナム、日本の先生、友人を含め、ベトナム子ども基金の里親さま、関係の皆さまのおかげと言っても過言ではありません。ベトナム子ども基金設立25周年のお祝いと共に略儀ながらこの場を借りて、ホウエ校長、ベトナム子ども基金理事長近藤様、岡村様、関係里親の皆さまに心より改めて深くお礼を申し上げます。貧困から育った私は直接に里親さま、関係の皆さまに何か返すことができないですが、ハングリー精神を忘れず、常に自分を磨いて社会に還元できるよう頑張っていきたいと思えます。



藤田 政弘

コロナウイルスがはやり、元里子が心配して自分のお金でマスクを送って来てくれたことがうれしかったです。ベトナムに会いに行ったときはおとなしく、恥ずかしがり屋だったのに、人助けができる大人になり、子ども基金での活動が実を結んで感無量です。今の日本は「江戸しぐさ」（相手をちょっと思いやる心）が少しなくなっていると思います。元里子の「人を思いやる心」はコロナ禍の中でうれしい出来事でした。これからも小さな市民活動を続けていきたいです。



里子のヒエンさん

堀 真一郎

初めてベトナムを訪れてからようやく10年になる。たった7名で始めた会社も今では100名を数え、彼らが力を付けるにつれ払える給料も目に見えて増えた。それはこの10年のベトナムの成長を目の当たりにするようだ。

一方、ベトナム子ども基金が支援する子どもの家庭が得ている収入はあまりにも低く、私の現実感覚のはるか外にある。私はあまりに多くをベトナムの社会、歴史、人々から与えられながら、結局はあくまでも都市部を出入りする一介の外国人にすぎず、まだベトナムを十分に知らない。この機会をありがたく思い、わずかばかりの支援をできる限り続けたいと思う。



里親基金 25年間の推移

里親基金里子人数支援実績推移 (地域別の小計あり)

(人)

地域	年	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	計	
北部	ヴィンフック						10	10	14	14	14	13	11	12	10	14	14	11	11	12	9	11	11	9	6	4	2	222	
	ナムディン				56	57	56	57	57	69	71	56	61	61	62	62	59	48	57	61	49	42	42	30	25	19	15	1,172	
	ハイズオン											1		5	6	11	22	23	27	28	26	21	21	10	6	4	4	215	
	ハノイ市		1		15	37	40	45	31	33	37	34	27	36	34	40	43	35	29	29	21	17	18	9	1			612	
	フイエン				6		11	10	10	20	20	18	18	18	14	14	10	7	21	20	22	22	20	13	11	8		327	
	タイビン						10	10	15	14	11	16	19	26	30	32	24	27	20	20	20	16	11	7				361	
	ハーナム							12	12	12	12	13	12	13	13	12	14	16	16	19	20	17	16	10	5			256	
	ハイフォン市									8	9	12	11	14	16	21	22	17	17	16	23	19	18	18	12	12	11	6	282
	フート																										40	40	80
	小計		0	1	0	77	94	117	132	142	172	180	156	160	179	185	206	214	180	188	216	187	170	172	123	90	106	80	3,527
中部	ダクラク						10	11	10	10	10	10	10	10	7	10	10	6	9	11	8	8	8	10	7	7	6	178	
	ゲアン					1	11	10	15	12	12	12	12	11	10	10	9	5	4	1	1							136	
	フエ	10	7	14	12	9	12	12	18	11	12	9	9	6	2	2	2	2	5	4	3							161	
	ダナン市					1	1																	5	5	4	6	22	
	コントウム								10	10	10	10	10	10	10	5	10	10	10	9	3	5	5	5	5	5	5	10	142
	ラムドン																							5				5	
	ニントウアン																							3	3	3	5	14	
	クアンビン																		10	10		10	15	15	16	15	14	12	117
	クアンナム																							5	5	4	3	17	
	クアンガイ																							5	4	4	4	17	
小計		10	7	14	12	11	24	32	44	43	44	41	41	37	29	27	31	33	38	25	25	28	28	54	44	41	46	809	
南部	アンザン									10	10	8	9	9	8	7	4	10	10	10	9	9	9	10	4	4	4	144	
	ブンタウ																				1	1	1				6	9	
	ベンチエー		1	28	31	32	31	30	31	26	24	22	20	16	12	9	9	8	9	9	10	10	10	8	8	7		401	
	ビンフック								14	14	14	7	5	7	6	5	5	3	10	8	3	2	2					105	
	ピントウアン					5	5	5	8	7	7	6	5	4	3	7	6	6	6	5	8	8	10	10	9	7	144		
	カマウ			21	23	23	21	18	21	21	19	19	18	18	19	19	19	12	12	11	10	8	8	9	8	7	6	370	
	カントー市											1	3	1						4	7	3	1	1	1	1	1	24	
	ドンナイ														5	5	5	5	6	6	9	8	12	12	11	9	6	99	
	ドンタップ															2	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	4	4	26
	ロンアン				25	25	25	26	37	27	37	38	47	49	48	41	37	37	38	42	36	27	26	25	18	16	14	741	
	ソクチャン									10	9	8	8	8	7	5	4	2		1	1	1	1					64	
	タイニン								6	6	6	6	10	7	7	8	7	7	7	5	3	3	3	8	7	5	5	116	
	ティエンザン				12	12	12	11	15	12	18	14	15	20	16	20	20	19	17	14	8	2	1					258	
	ホーチミン市	73	242	288	285	268	236	214	177	128	90	70	55	42	49	47	37	14	24	29	22	30	32	21	16	10	68	2,567	
	チャーヴィン									10	10	10	9	9	5	4	4	10	9	7	5	5	5	9	4	4	4	123	
ヴィンロン																						5	5	7	7	7	6	37	
小計		73	243	337	376	365	330	304	309	271	244	209	204	195	187	178	159	135	153	159	124	125	125	123	96	80	124	5,228	
合計		83	251	351	465	470	471	468	495	486	468	406	405	411	401	411	404	348	379	400	336	323	325	300	230	227	250	9,564	



中部フエの里子家族と会員の佐藤春美さん (2001年)



里子を訪問した会員の原二郎さんご夫妻 (1996年)



スタディーツアーで訪れたカンザーで現地の奨学生とキャンプ (2006年)

里子たちの成長を願って

25年間ご支援ありがとうございます。ベトナム子ども基金は、ホーチミン市にある青葉奨学会を通じて、貧困に負けず勉強を頑張るベトナムの子どもたちを応援してきました。中でも力を入れてきたのが、里親基金です。

青葉奨学会の同基金は、日本、アメリカ、ベトナム等約5団体からの寄付に支えられており、私たちベトナム子ども基金は、毎年全体の30～40%を占め1位、大きな力となっています。

青葉奨学会からの要請で里子(奨学生)を決定するため、里子の数は、毎年変化します。里親がついている里子の他に、特定の里親はつかずベトナム子ども基金全体で支援している里子もおります。皆さまからのご寄付は、里子への奨学金の他、学校建設等の教育施設の整備、事務局運営費等に使われ、この支援活動を支えています。

ベトナムに奨学金の支給団体はたくさんありますが、多くは単年度のようです。里親制度は、ひとりの子どもを10年間、小学生から高校生まで継続してサポートすることを大切にしてきました。毎年行う継続審査で里子の状況を把握し、一人ひとりに奨学金を手渡すことにも意味があります。お金を渡すだけではなく「あなたの成長を見守っている、応援している」と、励ましのメッセージを届けることができるからです。

毎年の支援額は決して大きくありませんが、こうした励ましと組み合わせることで、子どもたちが勉強を「長く続けていく」ことを後押ししています。

これらはとても手間のかかる方法ですが、青葉奨学会の事務局スタッフは、家庭や学校を訪問して子どもたちと実際に触れ合いながら、里子の数を増やしてきました。

ベトナムの発展は著しく、支援を終了する地域も増えていますが、経済成長は新たな格差も生むものです。新たな支援先への準備も常に進めながら、発展を続けております。

今後とも末永くご支援をお願いいたします。

(ベトナム子ども基金事務局 樋川)



親睦会で挨拶する近藤会長(1995年)

貧困地域の小さな子どもたちを応援

黄梅基金は、ベトナム子ども基金の設立10周年を記念して新たに参加することになった取り組みで、個人でも、団体でも設立することができます。

貧困地域の小学生を中心に、ひとり1回の奨学金を支給し、勉強を頑張るよう励ましています。ベトナムの青葉奨学会が管理する元本の利息を使って、毎年1回たくさん子どもたちに希望を届けています。

これまでに22の基金を設置してきました。LeNghi-Kizuka Scholarship（レギーきづか基金）は、里親基金の元里親と元里子が共同で設立した基金です。

(ベトナム子ども基金事務局 樋川)

黄梅集計 2018年の利息分まで

基金名	設立日	元本		支給数(人)																	合計
		円	US\$	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
ベトナム子ども基金	2004/2/5	4,997,660	9,772.21		96	160	179	380	200	330	400	425	422	189	191	107	129	138	139	129	3,614
泉	2002/9/1	1,100,000		13	73	80	80	104	80	80	66	70	70	31	31	17	20	22	22	20	879
中台	2003/9/24	1,000,000		30	30	40	60	60	60	73	60	60	68	30	30	16	20	21	21	19	698
岡村	2004/2/5	2,000,000			47	80	80	80	80	80	160	170	168	75	74	42	49	52	52	49	1,338
SOLT	2004/2/5	535,000			24	40	40	40	40	43	39	40	39	17	17	9	11	12	12	11	434
MOMOTAKE	2004/10/19	300,000					20	20	20	23	20	21	21	9	9	5	6	6	6	6	192
善	2005/5/2	600,000					20	20	20	46	40	42	42	19	18	10	12	13	13	12	327
UEDA	2005/5/2	400,000					40	40	30	32	30	30	29	13	13	7	8	9	9	8	298
クリアンサンス	2005/6/10	300,000					20	30	20	24	20	22	21	9	9	5	6	6	7	6	205
Haruki-Murashima	2006/5/25	300,000							40	23	20	21	20	9	9	5	6	6	6	6	171
33-HIMAWARI	2006/5/25	358,000							40	27	24	25	25	11	11	6	7	7	7	7	197
JJ	2007/10/5	300,000								22	20	20	20	9	8	5	6	6	6	6	128
SUN	2009/10/1	333,338										37	31	16	14	8	10	10	10	9	145
大石黄梅	2011/2/17	300,000												34	17	17	9	11	12	12	123
Teigeki	2011/2/17	474,112											53	27	27	15	17	19	19	17	194
やよい	2012/3/29		3,584.23											16	16	9	10	11	11	11	84
TRAN DUNG CHI			3,107.84												9	8	9	10	10	9	55
HOA ANH DAO	2014/3/9		3,313.61														12	10	10	10	42
LENGHI-KIZUKA	2014/3/31	25,000	2,888.50												5	8	9	10	9	9	41
SENGA	2014/3/31		3,369.92												6	10	11	11	10	10	48
よしはる			3,342.57														12	10	11	10	43
KOHARA	2019/3/29	300,000																			
合計		13,623,110	29,379																		9,256

2020年春の木運動の報告

毎年、春の木運動へのご協力をありがとうございます。ベトナムでは、テト（ベトナムのお正月）を迎える前の助け合い「春の木運動」が行われます。日本の歳末たすけあい募金のような運動です。ベトナム子ども基金も、青葉奨学会を通じて服や靴、学用品を子どもたちにプレゼントしており、このたび、2020年1月の実施報告が届きました。

クアンナム省 バックチャーミー郡のチャーザック、チャータン小学校と ナムチャーミー郡のチャーバン、チャーゾン、チャーレン小学校にセーターを配りました

ドンズー日本語学校ダナン校 ドー・ティー・シン

山の中の険しい道を30席のバスに乗って行きました。山の木が雲に届くほど高く、沢に沿って道があり、自然がたいへん豊かな地域です。バスの窓から下を見ると道の高さは1000メートル以上あるようです。船に乗っているようにバスが揺れて、車酔いになりそうでしたが、周りのみんなの声を聞くと元気になりました。50代の人も多く参加していて、私も彼女たちのように活動的になりたいと思いました。

12時にナムチャーミー郡のチャーバン小学校に着きました。学校の門は坂になっていて、雨のため道が滑りやすくバスが上れなかつた。やっとの思いで坂を上り、小学校5年の生徒たちが手伝ってくれて、一緒にセーターを学校の中に運びました。

校庭には300人の生徒が集合してくれました。司会の方が先に歌を歌って生徒を誘導してく

れ、小学生が歓迎のため歌を歌ってくれて、とても和やかな雰囲気になりました。

その後、青葉奨学会を紹介してくれ「生徒たちが勉学に励み、困難を乗り越えられよう」とメッセージを送りました。次に288枚のセーターを生徒に配り、写真を撮りました。生徒同士楽しそうで、瞳が明るく笑顔が印象的でした。子どもたちの足はとても痩せていました。また、普段は家族と離れて学校で寄宿生活をしている小学生ですが、その寂しさを見せず、とても無邪気でした。小学校の先生からの話によると、もっと険しい山の中にも分校があるそうです。子どもの家から通うには9時間もかかってしまうとのこと。そういう話を聞くと胸が詰まります。今までそのよ

うなところに学校があったことは知りませんでした。

次にチャーゾン小学校に行き、セーターを312枚配りました。午後5時になると辺りは暗くなり、道を通ることも危なくなり、「ここは？ どこなの？」というようにひっそりしていました。そんな道を小学校3年生の小さい子どもたちが家に帰るのを見たので、その生徒をバスに誘って家についていろいろ聞いてみました。

やっとチャーレン小学校に着きました。今晚はここに1泊して子どもたちと夜の9時15分まで交流しました。

学校の先生と深夜まで話をし、子どもたちの貧困の様子を聞くと、言葉を失いました。

雨が降っていて、強い風が吹き、この先生が小学生のためにいろいろな世話をしているのを聞いて、先生たちはたいへんだと感じました。先生たちを尊敬します。



春の木運動 現地で配布の様子

次の朝5時になると太鼓の音が鳴って、子どもたちが体操を始めました。すごく寒いのに靴下も履いてなく、はだしで掃除をしていたことにすごくショックを受けました。まだ小さいのに…。その後セーターを64枚配り、学校の先生と子どもたちとさよならをするのがつらかったです。

バックチャーミー郡に向かって、チャーザック小学校、チャータン小学校と訪れ400枚のセーターを配りました。

外は雨がまだ降っていましたが、頭の中には子どもたちの明るい瞳と痩せている足の姿がずっと浮かんでいました。この訪問は私にとってとても意味がある活動だったので一生忘れないでしょう。

事務局から

◆ ベトナム子ども基金を応援してくれているサイトです。

Junijuni 東京ガス

Junijuniでお買い物をしてくださったときに、代金の一部を、ベトナム子ども基金に寄付できます。

Junijuni logo with text: お手軽に買って、ちょっぴり社会貢献

Icons: 賞味期限が近いなどの商品を、お手軽に買って、購入金額の一部を寄付

URL <https://www.junijuni.jp/>

クリック募金 株式会社 Wakka Inc.

毎日クリックするだけで、ベトナム子ども基金に募金できます。この募金は、ベトナムで事業を展開するIT企業 株式会社 Wakka Inc. の負担によるものです。クリックする方には1円の負担もかかりません。

Flow: YOU (CLICK) → SPONSOR (Wakka Inc.) → NPO/NGO (Vietnam Kodomo Kikin)

URL <https://heartin.com>

◆ ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座をお願いいたします。

<口座名(共通) 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金 (カナ): トクヒ) ベトナムコドモキキン>

基金支援会員 (里親基金・里親学生基金・一般基金・法人基金・賛助基金)

郵便振替 00100-6-546799 みずほ銀行駒込支店 普通: 1121865

基金支援会員 (学校建設黄梅基金・個別黄梅基金・ベトナム黄梅基金)

郵便振替 00130-4-552361 みずほ銀行駒込支店 普通: 1121873

運営会員 郵便振替 00100-6-546799 みずほ銀行駒込支店 普通: 1121865